

azbil

2026 水道メーター

総合カタログ 標準価格表



アズビル金門株式会社

お客さまに、温室効果ガス排出量の

水道メーターサプライチェーンにおける社会的責任の遂行

地球温暖化対策として、二酸化炭素(CO₂)をはじめとした温室効果ガス(GHG)の排出量の削減が重要なテーマとなっています。

azbilグループでは、2020年10月に政府が示した「2050年カーボンニュートラル宣言」に準じて、脱炭素社会の実現を見据え、自らの事業活動および製品・サービスの提供を通じて地球環境への貢献に向けたGHG削減に取り組んでいます。

アズビル金門グループでは、2021年にアズビル金門原町で電力の再生可能エネルギー転換を行ったことを皮切りに、順次他工場へも展開したことで、**メーター供給網全体で使用する電力に由来するCO₂排出量を2024年度には2017年度比84%*2を削減**しました。2025年度以降は、電力の再生可能エネルギー転換が未実施の拠点に対しても継続的に取り組み、メーター供給網全体で使用する電力に由来するCO₂排出量の実質ゼロを目指します。

電力の再生可能エネルギー転換に加え、ケース材料のリサイクルや製品1個単位でのCO₂排出量管理などの様々な取り組みを通じ、お客さまの環境負荷低減活動を後押しし、地球環境保全に貢献する水道メーターをお届けします。

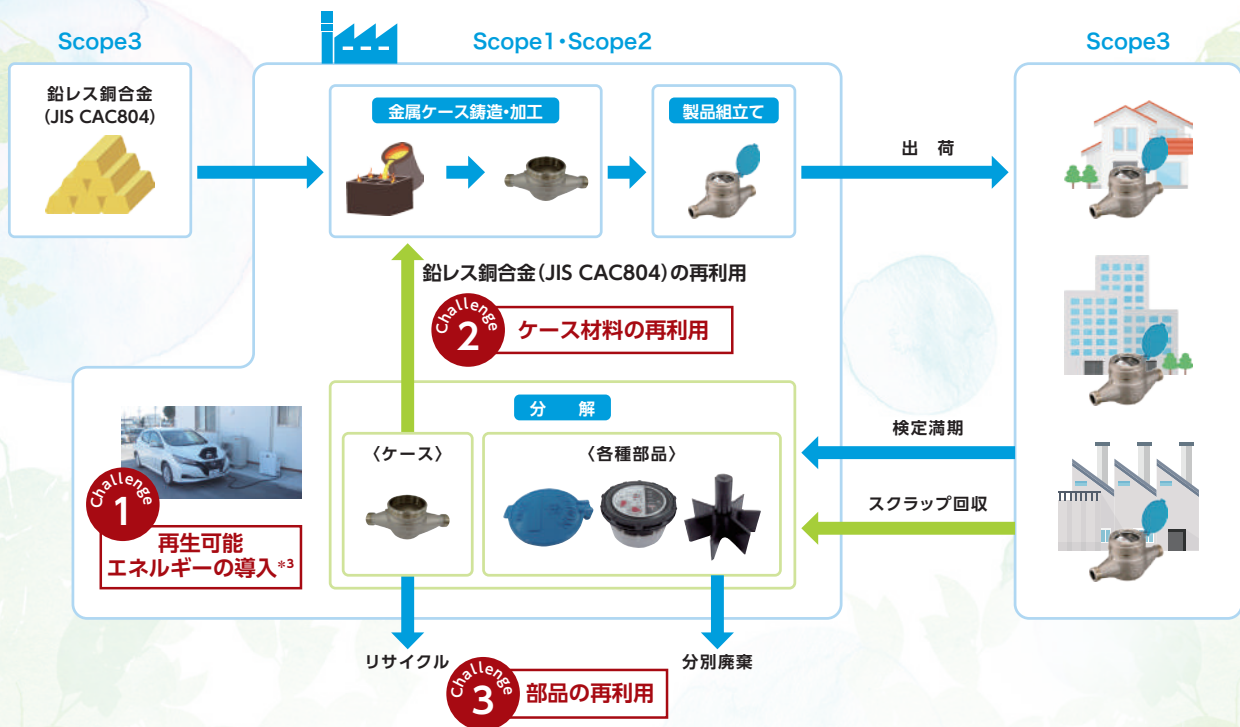
12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



サプライチェーン全体を通じたGHG削減



Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2 : 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3 : 事業者の活動に関連する他社の排出 (Scope1、2以外の間接排出)

*1 温室効果ガス排出量の少ないメーター:当社従来比較
水道メーター製造に関わる工場における2020年度の電力使用量に対して、電力調達方法変更前後での温室効果ガス排出係数を乗じて比較

*2 使用電力に由来するCO₂排出量の算出方法
2024年度のアズビル金門グループ各事業所の年間使用電力量を元に、2025年3月末時点までに実施した施策の実施効果を試算し、環境省の「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」ウェブサイト上で公開されている電気事業者別排出係数を乗じて算出した。

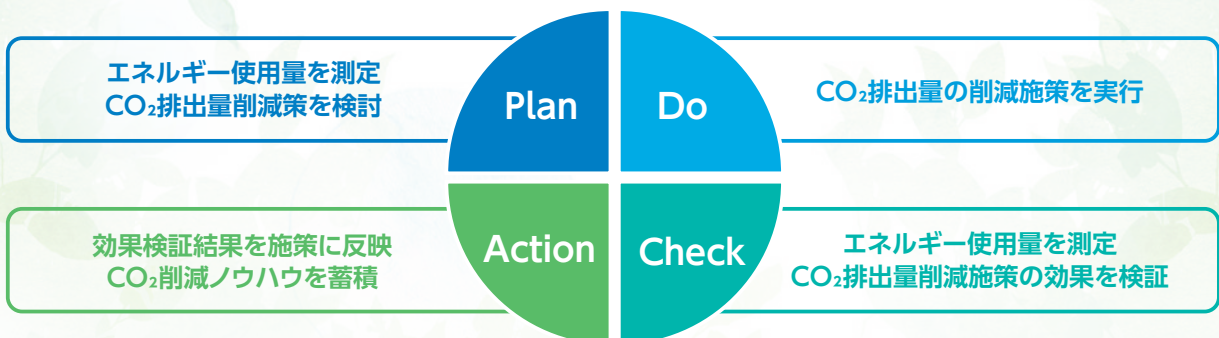
*3 再生可能エネルギーの導入
調達した電力量に見合った非化石証書購入によりCO₂排出量の実質ゼロを実現した電力

少ないメーター*1をお届けします。

アズビル金門グループのメーター供給網におけるCO₂排出量削減の取組み事例



アズビル金門グループのCO₂排出量実質ゼロにする取組み (PDCA)



アズビル金門グループはお取引先さまとともにCO₂排出量削減に取り組んでいます

次
世
代

超音波式
水道スマートメーター

flowIQ
2200





超音波で測り、スマートに伝え、漏水を見つける

超音波式 水道メーター

高性能・高精度(R250)

- 羽根車式(R100)の2.5倍の小流量域まで計測が可能

軽量化(プラスチックケース)

- 質量は機械式の1/4
- 寸法は面間以外はすべて小型化

スタティック(駆動部レス)

- 耐久性向上

縦型水道配管設置可能

- 360度 あらゆる角度に設置可能

スマート メーター

無線通信対応(LTE通信) 遠隔検針

- 1時間ごとの検針値をクラウド上にて確認可能
- 見守り機能など、検針値データの活用が可能

漏水検知 (一次側、二次側)

豊富な接続実績 (欧州・北米・アジア)

- 100万台以上のクラウド接続実績
- 5,000件以上の漏水検出実績

独自の漏水分析

- 水流を含めた音響データを収集
- クラウド上で機械学習を用いて分析

13～50mmのねじ込みタイプ



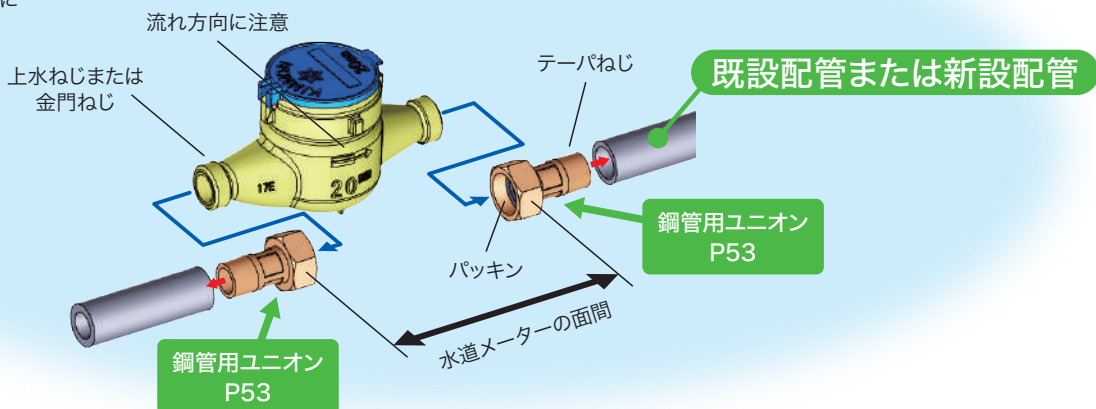
13mm～50mmのねじタイプは、取り外しが容易なユニオン接続を推奨します。ユニオンは、配管側にテーパねじでシールテープなどでねじ込んで、両側をメーターの面間+パッキン分の間を空けて施工しておきます。その後、メーターの袖ねじとユニオンを規定トルク（P16参照）で締め付けて取り付けます。

メーターの袖ねじは、「上水ねじ」と「金門ねじ」など種類があり、ユニオンとメーターのねじの種類が異なると取り付けられませんので、交換の際はねじの種類にご注意ください。

なお、鋼管用ユニオンのほかHIビニール用ユニオンや伸縮管などがございますので、P53をご参照ください。

鋼管用ユニオンとメーターの間にパッキンを入れ、鋼管用ユニオンの袋ナットでメーターに接続します。メーターを交換しやすいように平行ねじになっています。

鋼管用ユニオンにシールテープなどを巻いて配管へねじ込みます。HIビニール管用ユニオンの場合は、塩ビ用接着剤などで接着します。



50mm以上のフランジタイプ



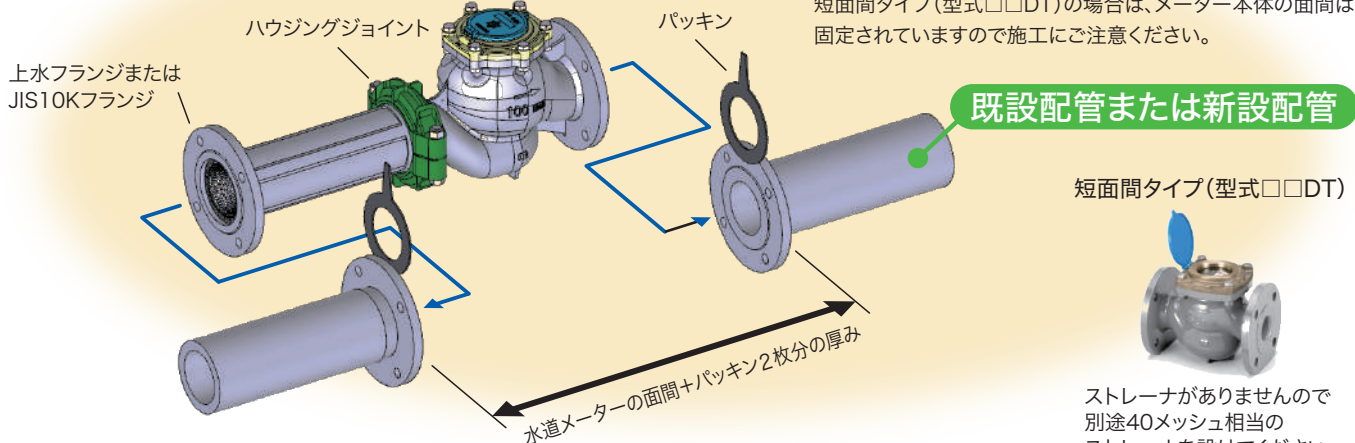
50mm以上のフランジタイプは、配管のフランジとメーターのフランジを指定のボルトナットで締め付けて取り付けます。交換の場合は、フランジの種類にご注意いただき、新品のパッキンを使用して接続してください。新設で配管する場合は、メーターの面間とパッキン2枚分のスペースを設けてください。

補足管付タイプ（型式□□DW）でハウジングジョイントがある場合は、緩みが生じることで施工が容易になりますが、短面間タイプ（型式□□DT）の場合は、メーター本体の面間は固定されていますのでメーター面間にはご注意ください。

※フランジには上水フランジやJIS10Kフランジの種類があり、配管とメーター側の種類が一致しないと取り付けできないことがありますので、ご注意ください。

フランジのボルト穴を合わせて、パッキンを挟み込むようにボルトで締め付けます。ボルトは対角線上で締め付けるようにしてください。

新設で配管する場合は、メーターの面間とパッキン2枚分のスペースを設けてください。補足管付タイプ（型式□□DW）でハウジングジョイントがある場合は、若干縮みます。短面間タイプ（型式□□DT）の場合は、メーター本体の面間は固定されていますので施工にご注意ください。



短面間タイプ(型式□□DT)



ストレーナがありませんので別途40メッシュ相当のストレーナを設けてください。

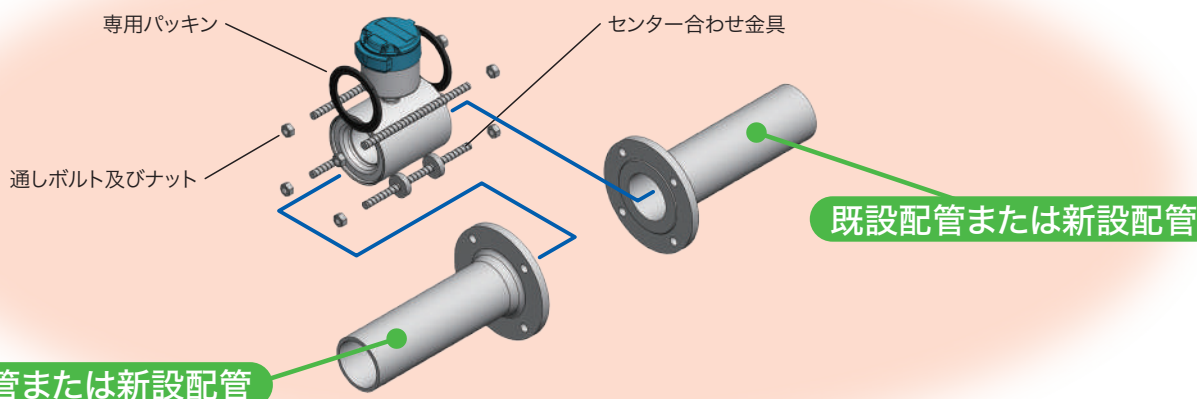


MGB12A(電池電磁水道メーター)の挟み込みタイプ

本体の単体接続の例

MGB12A電池電磁水道メーターは、本体にフランジがないウエハ（挟み込み）タイプです。

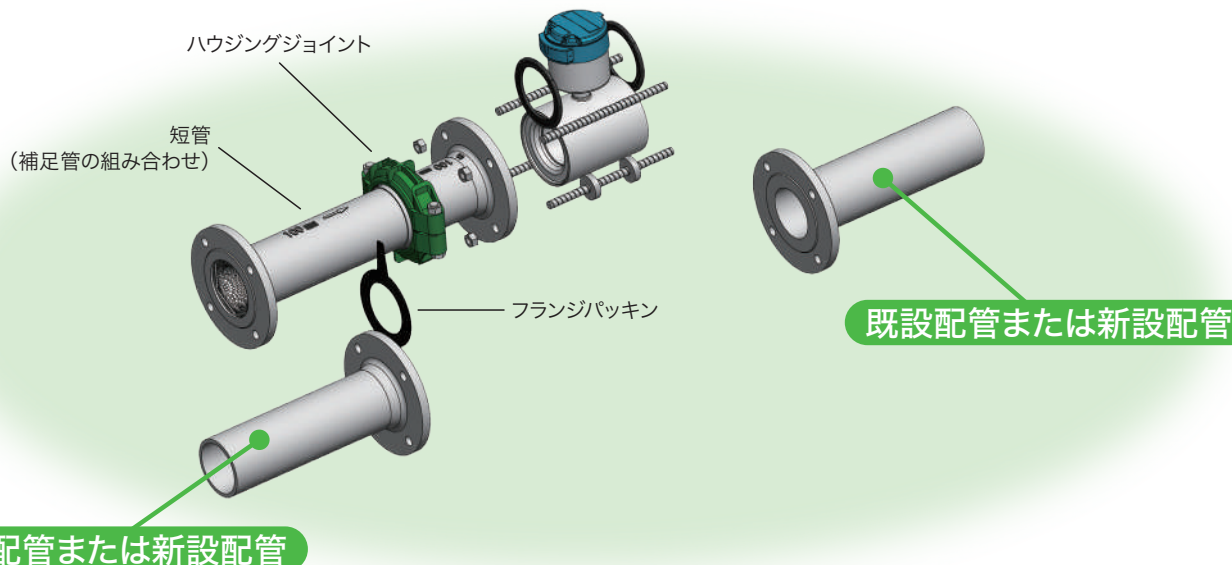
- **取り付け**
配管側のフランジで本体を挟み込み、通しボルトとナットで確実に締め付けます。
- **中心合わせ**
付属のセンター合わせ金具を使用します。下側の通しボルト2本に、それぞれ2個ずつ金具を差し込み、その上に本体を載せることで、配管と本体の中心を容易に合わせることができます。
- **パッキン**
専用パッキンは本体にあらかじめ取り付け済みのため、施工が容易です。



従来の羽根車式からの交換例（補足管タイプの場合）

羽根車式からMGB12Aへ交換する場合は、専用の補足管や短管が必要です。
以下は一般的な例ですが、伸縮補足管タイプや単面間、他社製からの交換なども可能です。
※詳細は製品ページをご参照ください。

- **短管の取り付け**
補足管を組み合わせた短管を先に取り付けます。
- **本体の取り付け**
上記と同様に、配管側のフランジで挟み込み、通しボルトとナットで確実に締め付けます。
- **補足管の特長**
短管はハウジングジョイントで接合されているため、短い補足管は多少動き、取り付けが容易になります。



水道メーターの分類(計量方式別)

水道メーターは計量方式によって右図のように分類されており、一般家庭用には接続流羽根車式が主流です。

口径13mm、20mmがほとんどで、それ以上の口径は業務用など多くの水量を必要とする箇所に使用されます。「水道メーター」とは計量法での呼び名で、350mm以下のものは特定計量器として検定が必要です。取引用として使用され、水道事業者では「量水器」と呼ばれることもあります。

接続流と軸流

羽根車に当たる水流が回転軸に対して接続方向から当たるものを「接続流」、軸方向に当たるものを「軸流」と呼びます。

単箱と複箱

外ケース自体が水流を作る計量部になっているものを「単箱」と呼び、外ケースの中にさらに水流を作る計量室があるものを「複箱」と呼びます。

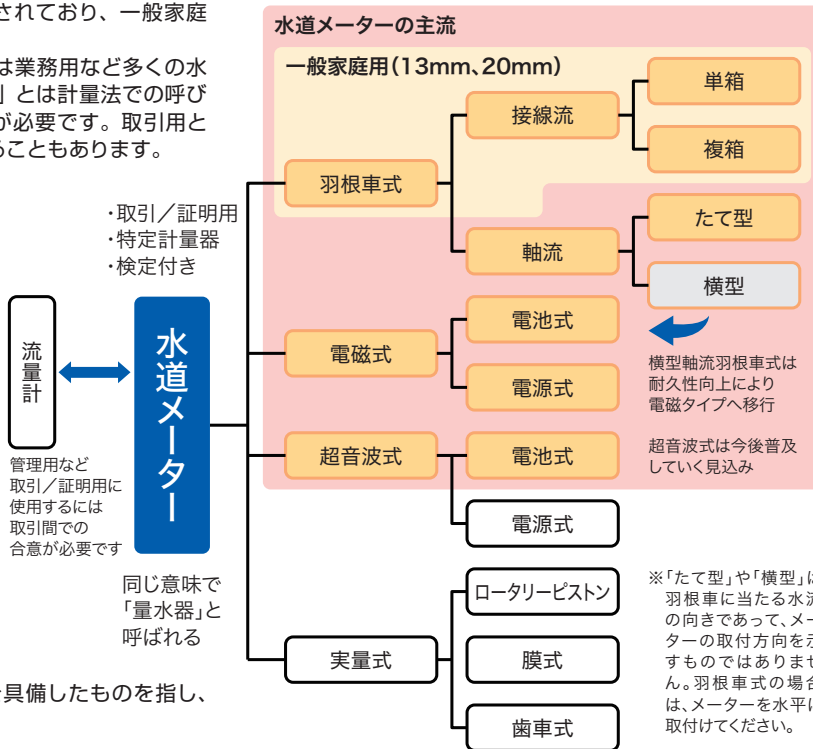
電磁式水道メーター

電磁誘導の原理を利用して水の流速を測定します。可動部がないため摩擦が少なく、精度が高いのが特長です。主に大口径や業務用で使用されます。

超音波式水道メーター

超音波の伝播時間差を利用して流量を測定します。可動部がないため耐久性に優れ、逆流や微小流量の検出も可能です。

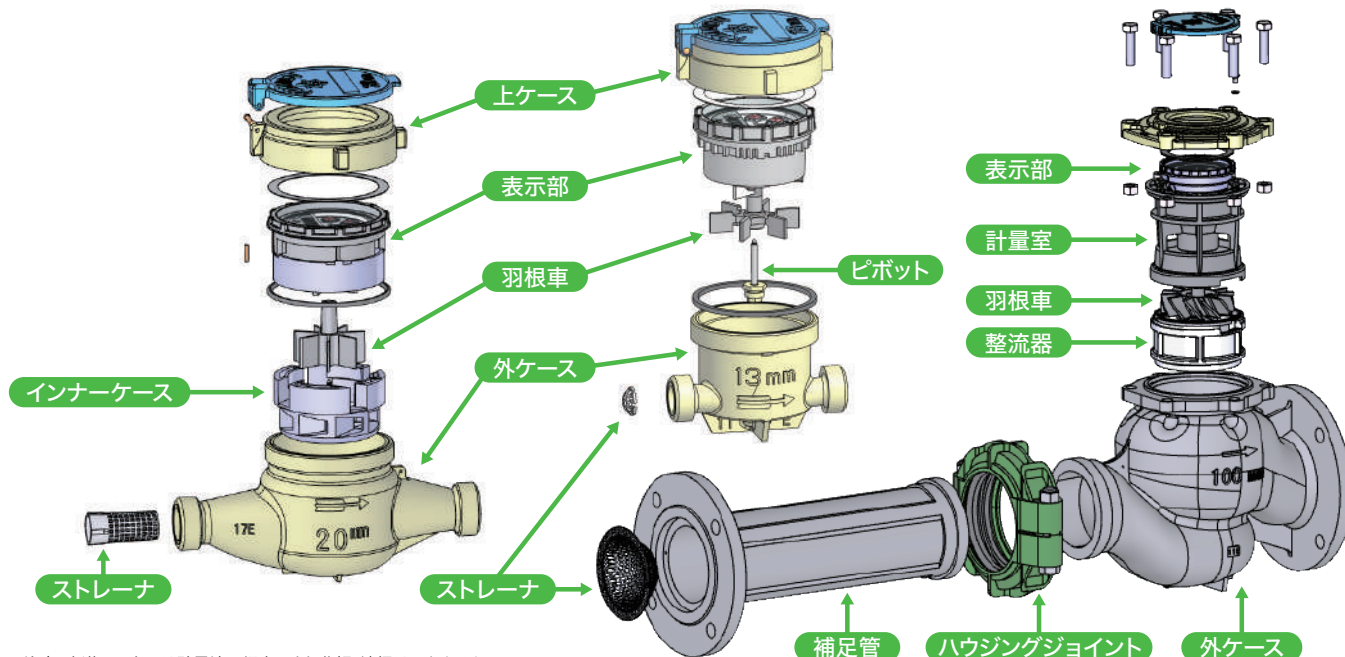
なお、「水道スマートメーター」は、通信機能などを具備したものを指し、計量方式とは関係ありません。



水道メーターの構造

代表的な計量方式の構造を以下に示します。

どれも羽根車は、ピボットの先端に搭載され、水流に対し高感度に反応する構造となっています。口径13mmの「単箱型」は、外ケースが計量室のため簡素な構造となっています。口径20mmの「複箱型」は、インナーケースと呼ばれる計量室の中に羽根車が搭載されている標準的な構造です。口径100mm「たて型軸流羽根車式」は、複箱のような計量室ですが、接続流型と区別し「たて型軸流」と呼んでいます。外ケースの下から来る水流が整流器を通り羽根車に当たる構造になっています。どの方式も高感度を保つために羽根車の周りのクリアランスは小さく、異物が入ると回転できなくなるのでご注意ください。

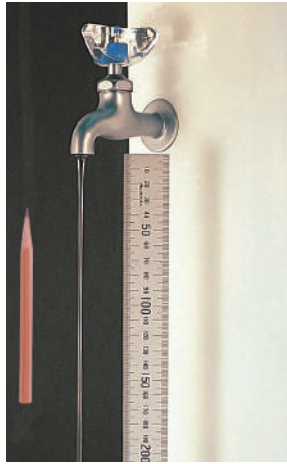


ご注意：水道メーターは計量法の規定により分解、清掃はできません。

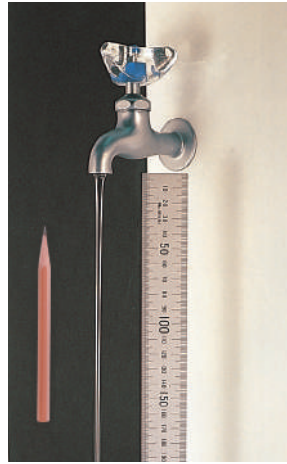
5L/h



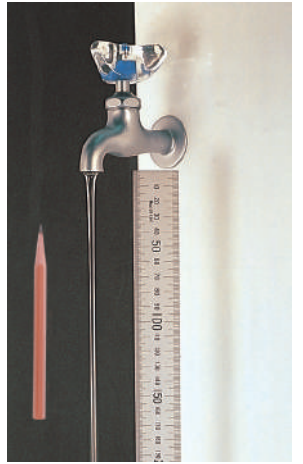
10L/h



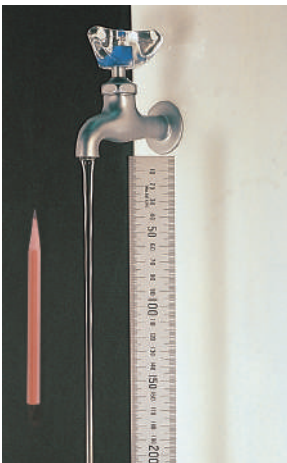
20L/h



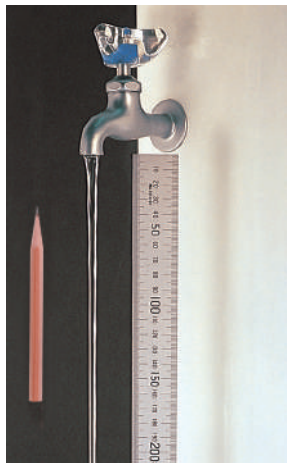
30L/h



50L/h



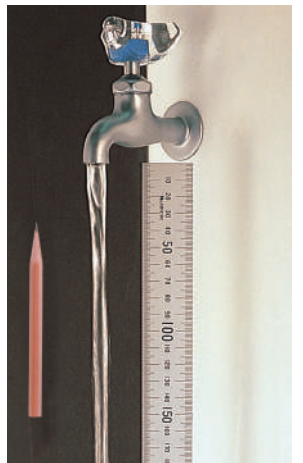
70L/h



100L/h



200L/h



400L/h



600L/h



1000L/h



1500L/h



平素は当社の製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

さて、本書により当社製品をご注文・ご使用いただく際、見積書、契約書、カタログ、仕様書、取扱説明書に特記事項のない場合には、次の通りとさせていただきます。

1.保証期間と保証範囲

1.1 保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後1年間とさせていただきます。

1.2 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により故障が生じた場合は、納入した製品の代替品の提供または修理対応品の提供を製品の購入場所において無償で行います。ただし、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ①お客さまの不適切な取扱い ならびに ご使用の場合(カタログ、仕様書、取扱説明書などに記載されている条件、環境、注意事項などの不遵守)
- ②故障の原因が当社製品以外の事由の場合
- ③当社 もしくは 当社が委託した者以外の改造 または 修理による場合
- ④当社製品の本来の使い方以外で使用の場合
- ⑤当社出荷当時の科学・技術水準で予見不可能であった場合
- ⑥その他、天災、災害、第三者による行為などで当社側の責にあらざる場合

なお、ここでいう保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社は、当社製品の故障により誘発されるお客さまの損害につきましては、損害の如何を問わないものとします。

<ご注意>

当社製品の保証期間は、上記のとおりご購入後1年間です。

なお、計量法で定められている検定有効期間は、取引・証明用としての使用期限であり、製品の保証期間とは異なります。この点につきまして、あらかじめご注意ください。